



1年を通して全国各地から数多くの求人票が集まります。

2020年度 就職率 91.8%

※就職率は、2020年度(2021年3月)卒業生の就職活動者のみ(独立・進学除く)を対象としたデータです。

就職・インターンシップ

越前漆器の産地である福井県鯖江市と包括的連携協定を締結。

2015年4月、本学院は福井県鯖江市、鯖江商工会議所と包括的連携協定を締結。学生の即戦力となる学びから、越前漆器産地「うるしの里」の後継者育成や産地振興につなげていくことがねらいです。



進学という道

放送大学との連携による大学卒業資格、または大学卒業と同等の高度専門士資格を生かし大学院への進学が可能です。

国立 鳴門教育大学大学院

国立鳴門教育大学大学院に進学し、教員免許を取得することも可能です。教員免許の中でも最高位の専修免許の取得をめざせます。

- 郡 健司さん【木彫刻専攻(11期生)】
- 宮本 勇人さん【仏像彫刻専攻(15期生)】
- 草留 大優さん【金属工芸専攻(17期生)】
- 神野 紗里奈さん【蒔絵専攻(22期生)】

国立 京都工芸繊維大学大学院

国立京都工芸繊維大学大学院への進学も可能で蒔絵専攻の3名が進学し、職人の技術などを科学的な面から研究しています。

進路相談スケジュール

自分の適性や将来の進路について向き合い、考え始めます。

2月

進路ガイダンス

進路ガイダンス

第1回「就職の方向性を考える」
卒業後どのような進路の方向性があるのかなど、就職活動を始めるうえで重要なポイントについて説明します。

第2回「ポートフォリオの作り方」
ポートフォリオの役割や加工する方法、ポートフォリオを使った売り込み方などをレクチャーします。

第3回「履歴書の書き方」
履歴書の目的と役割の説明、魅力的な履歴書の書き方などを説明します。



ポートフォリオ

在学中に学んだこと(作品)を1冊のノートにまとめ、工房見学や面接で自己PRとして使用します。



私の経歴

在学中の受賞歴が将来の作家としての経歴となるのは本校ならではのです。

山田 太郎

Taro Yamada

金属工芸作家(工芸士2級)

〈作家経歴〉

- 2017年 西宮市展 彫刻立体部門に出展 奨励賞受賞
- 2018年 安曇野そば精口アート公募展 入選
- 2019年 第23回卒業・修了制作展 京都市長賞 受賞
- 2019年 京都伝統工芸大学校 金属工芸専攻卒業

5月

個別面談

一人ひとりとじっくり面談。自己分析を行い、進路を明確にします。

個別面談

毎年5月に、3年生以上の学生を対象に実施。学生一人ひとりと面談し、学生の進路希望や希望分野を確認。就職活動のアドバイスや求人情報の提供などを行っています。

7・8月

インターンシップ

インターンシップ先の工房・企業で就職する学生も多数。

工房実習(インターンシップ)

実際の工房での職場体験ができるインターンシップを取り入れています。春休み、夏休みを利用してインターンシップに参加することも可能です。外部からではわかりにくいプロの現場や仕事の流れなどを知り、社会へ出るうえで貴重な体験となります。

9・10月

就職フォロー

卒業生が築き上げたネットワークで就職活動をフォローします。

長崎県波佐見焼サポーター養成講座

約400年以上の歴史を持つ波佐見焼を知る講座が行われ、陶芸専攻の学生全員が参加。「石膏型」「排泥・圧力鑄込み」「機械ろくろ」「手ろくろ」「絵付け」などの実演見学や講座を受講し、最後に修了証と波佐見焼の胸章が授与されました。



11月~

個別相談

就職先を決めかねている学生に対し、個々の面談でアドバイスをいたします。

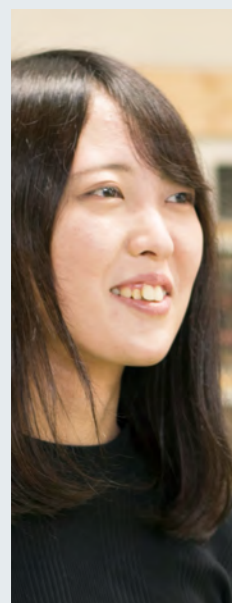
進路指導室

面接のマナーから、お礼の手紙の書き方など、就職活動に関するすべてをサポートするのが進路指導室。全国各地の企業や工房情報、多彩なネットワークを活かして斡旋や紹介を行っています。またUターン就職の希望にも応えます。



内定者インタビュー

学んだ技、身につけた力で、 自分の未来を拓く。



え鈴工房

**内定先でさらに技術を身につけ、
自分の工房を持てる職人になる。**

大学在学中、TASKの卒業修了制作展を偶然見た時、自分のしたいことを将来の職業にしたいと考え、大学卒業後に蒔絵専攻に入学。1年次の基礎演習で蒔絵や漆の基礎をしっかりと学ぶことができ、それが今の実力につながっていると実感しています。内定先は、漆を使った作業のほか、寺院の襖などに彩色を施したり、仏具の修復、アート作品の制作補助を行う工房です。ここで技術を身につけ、将来的には自分の工房を立ち上げたいです。

蒔絵専攻 / 工芸コース 本田 彩矢加
坂出高校(香川県)→帝塚山大学出身 工芸士2級



**(株)ジーアンドシーアート 箱根 クラフトハウス
土の魅力に目覚め陶芸の道へ。
将来は自分の工房を持ちたい。**

オープンキャンパスでの陶芸体験で土の面白さに衝撃を受けて入学を決めました。特に印象に残っている実習は穴窯実習で、仲間と協力しながら窯詰めや薪入れをするなど貴重な体験ができました。内定先に応募したのはTASKでの学びを活かせることに加え、陶芸作家をめざしている方も多く伺ったからです。日々の成果や学校生活、協力して作業をする姿勢など、これまで学んだことをアピールし、内定をいただきました。今後はさらに技術を磨き、将来は自分の工房を持つことが目標です。

陶芸専攻 / 工芸コース 鈴木 智佳子
神奈川総合高校(神奈川県)→聖セシリア女子短期大学出身 工芸士3級



(株)ぎをん齋藤

**170年余の歴史がある呉服店で
友禪染の職人になる夢を実現。**

幼い頃から工芸の道へ進みたいと考え、TASKへ入学。授業では友禪の多様な工程ごとに専門の先生方から手厚くご指導いただき、将来を見定められたと感じています。また、丁寧・確実に作業することや早朝からの活動も得意なことをはじめ、これまでの学生生活での学びや作品を就職活動でアピールし、志望していた友禪染色関係の会社から内定をいただくことができました。内定先ではさまざまな職人と交流を深めて自らの技術を高め、会社に期待される人材になれるよう努力します。

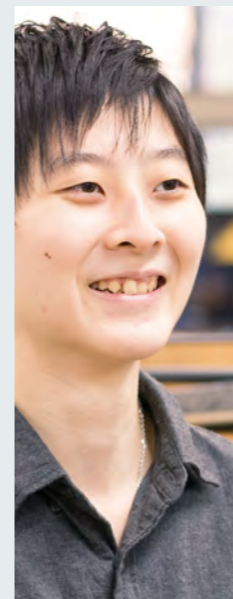
京手描友禪専攻 / 工芸コース 安田 匠吾
清水谷高校(大阪府)出身



**(株)河島建具
組子と指物の技術を活かした
美しい建具の制作が目標。**

3年次の修了制作で、釘などは使わずに木を組み付ける「組子」を用いた作品を制作。繊細かつ正確さが求められる組子の作業が好きで、またその美しさを自分なりに表現したいと考えました。そんな時、内定先の会社説明会で組子の表現方法について話を伺い、自分も建具制作に関わりたいと強く思うようになり、志望しました。入社後はTASKで学んだ指物の技術を活かし、組子で装飾した家具を制作したいです。

木工芸専攻 / 工芸コース 山田 さつき
緑高校(愛知県)出身 工芸士2級

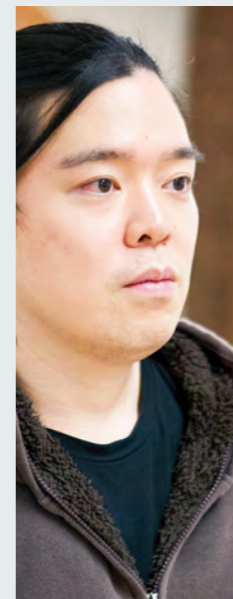


(株)SGC

**日本有数のゴールドカンパニーで
技術を磨き、金工作家をめざす。**

高校時代から金属工芸を学び、その面白さに触れ、伝統工芸の世界で工芸品を制作したいと考えTASKに入学しました。自分の作品をから制作できた修了制作などが印象に残っています。内定先は金の精錬から製作、販売、買取までを手がけるゴールドカンパニーで、講師の先生に学びながら製品作りができ、就業後の自由製作も可能など、金工作家としての夢を実現できる職場環境に感銘を受けました。入社して働きながら技術を習得し、製品のデザインを生み出していきたいです。

金属工芸専攻 / 工芸クリエイターコース 須藤 智恵
秋田公立美術大学附属高等学院(秋田県)出身 工芸士4級



岩松工房

**仏像彫刻の技術や姿勢を極め、
将来は大きな仏像を寺院に納めたい。**

TASKでは共同制作が印象に残っています。大きな作品の共同作業では、特に周りとの息を合わせることが大切です。また、仏像の展覧会で仏師の方にお話を伺った際、「1日最低1時間は彫刻刀を手にしているか」と問われ、仏像彫刻は根気と努力が必要だと改めて感じました。内定先は仏像彫刻の工房です。この工房が弟子を募集していると聞き見学した際、師匠の人柄に惹かれ、弟子入りを決意しました。将来は四天王をはじめとする天部など荒々しく大きな仏像を寺院に納めることが目標です。

仏像彫刻専攻 / 工芸コース 田杭 和憲
鏡子高校(千葉県)→日本工学院専門学校出身 工芸士2級



(株)保志

**TASKで学んだ技術を活かし、
入社後も私らしく挑戦したい。**

仏壇・仏具・位牌などの製造・販売を手がける内定先の会社見学で、社員の方が率先して仕事以外の企画にも積極的に取り組んでおられたことに感動。私もそのようになりたいと思い、応募しました。面接では、木彫刻専攻の学びに加え、制作と接客のアルバイト経験を活かし、お客様目線で商品の特徴やメリットなどを伝えられることをアピール。制作と販売の双方を経験している技術力とコミュニケーション力が役立ちました。入社後は自ら企画し、プレゼンテーションするなど、常に私らしく挑戦したいです。

木彫刻専攻 / 工芸コース 望月 つかさ
富岳館高校(静岡県)出身



鳥羽漆芸

**現代的な漆芸商品も手がける
工房でさらに技術を磨きたい。**

ものづくりが好きで、中でも漆に特に興味があったので、実習が多く確かな技術が習得できると思いTASKに入学しました。日々いろいろな作品に触れる中、この工房の作品を見て「ここで働きたい」と思い、就職活動を開始。数回の工房見学とインターシップ体験を経て内定をいただきました。工房では漆塗りの碗など伝統的なものから、ワイングラスなどのガラス製品に金箔を貼るといった現代的な商品も制作されています。技術を磨き、将来は地元の伝統工芸品である「駿河漆器」の魅力をもっと多くの人に知っていただきたいです。

漆工芸専攻 / 工芸コース 数原 真衣
駿河総合高校(静岡県)出身



**(株)東秩父村和紙の里
道の駅にある和紙の里で、
和紙づくりや和紙製品を作る。**

高校時代に和紙でできたバラシュートをテレビ番組で見て「和紙ってこんなに強いんだ」と感動。自分も和紙を作りたいと考えてTASKに入学しました。紙漉きには流し漉きや溜め漉きなどの種類があり、最初から全部できるわけではないものの、実際に作れたときの感動は今でも鮮明に覚えています。内定先は先生から紹介していただき、採用面接では授業で学んだ和紙づくりや加工などの制作経験をアピール。入社後は若い世代にも興味を持ってもらえる和紙を活かした商品を作りたいと考えています。

和紙工芸専攻 / 工芸コース 足立 桜
神崎高校(兵庫県)出身 工芸士3級



中井産業(株)

**木と手のぬくもりが感じられる
木製品の技術を習得したい。**

手作業でものづくりをしたいと考え、実習など実践的な授業が多いTASKで技術や知識を学びました。内定先は木製建具を中心に高い技術力が必要とされる社寺建具や賽銭箱といった神具など木材の加工について幅広く対応できる総合木工メーカーです。自社ブランドを立ちあげ、多くの人に技術や魅力を伝える考えに共感し、私も関わりたいと思い応募しました。建具だけでなく、幅広い方々の生活に寄り添うものづくりをしているこの会社で、何年かかっても自分が納得できる技術を身につけたいです。

木工芸専攻 / 工芸コース 松本 明日香
壺崎高校(長崎県)出身 工芸士3級

